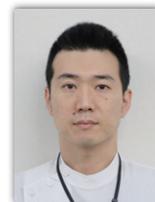




特集

大腸がんって どんながん？



外科 医師 谷口 文崇

日本外科学会 専門医
日本消化器外科学会 専門医
日本がん治療認定医機構
がん治療認定医

大腸とは？

大腸は小腸から肛門にかけてをつなげる消化管です。全長約 1.5～2mあり、大きく「結腸」と「直腸」に分けられます。

大腸の役割は主に水分とミネラルの吸収です。小腸で栄養分が吸収された液状の便から水分を吸収して固形の便にします。直腸では便意を感じたり、便を我慢したりといった働きもあります。



大腸がんとは？

大腸がんとは大腸の粘膜から発生する悪性腫瘍で、その発生部位から「結腸がん」と「直腸がん」に分けられます。

大腸がんは比較的にかかりやすいがんの一つです。罹患数(かかった数)では男性で前立腺がん、胃がんについて第3位、女性では乳がんについて第2位です。また死亡数では男性第3位、女性1位です。

生涯におけるすべてのがんの発がんリスクはだいたい2人に1人～3人に2人といわれていますが、大腸がんの生涯罹患リスクは男性で10.3%、女性で8.1%です。約10人に1人が大腸がんにかかることがわかります。

では、大腸がんにかかるとうも助からないのでしょうか。実は、大腸がんは消化器がんの中で最も5年相対生存率(治療でどのくらい生命を救えるかを示す

指標)が高く、適切に治療すれば70%以上の人が5年生存を期待できます。

がんにかかった数

順位	男性	女性
1位	前立腺	乳房
2位	胃	大腸
3位	大腸	肺

部位別がん罹患数(2017年)

がんの死亡数

順位	男性	女性
1位	肺	大腸
2位	胃	肺
3位	大腸	膵臓

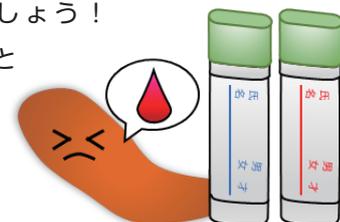
部位別がん死亡数(2018年)
国立がん研究センターがん対策情報センター

大腸がんの診断方法は？

大腸がん検診では主に検便により便潜血を調べます。便潜血は便にひそむ目に見えない血液を検査します。

山口県の大腸がん検診受診率は2019年のデータで全国ワースト1位でした。大腸がんは早期発見して適切に治療すると治る可能性のある病気です。皆さん、ぜひ検診を受けましょう！

便潜血で1回でも陽性となった人は大腸内視鏡検査や注腸検査による精密検査を行います。



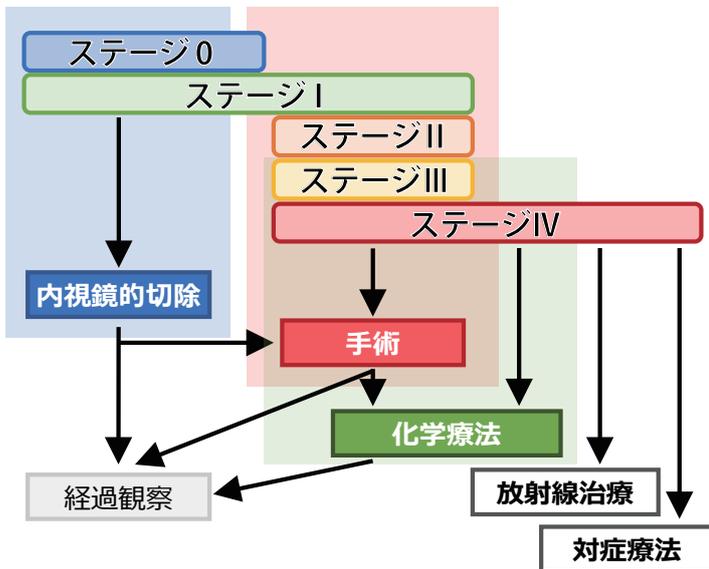
特に、大腸内視鏡検査は直接腫瘍を見ることができただけでなく、組織を採取したり小さな腫瘍やポリープを切除したりすることができます。

大腸の治療法は？

大腸がんの治療法はがんの深さや大きさ、ステージによって異なります。

粘膜内に限局した腫瘍は内視鏡的な切除で根治できる可能性もありますが、ある程度進行したがんにはリンパ節の掃除(郭清)を伴った手術が必要になります。

また、転移をしていたり周囲組織に浸潤したりして切除ができないような大腸がんには抗がん剤を中心とした集学的治療を行います。

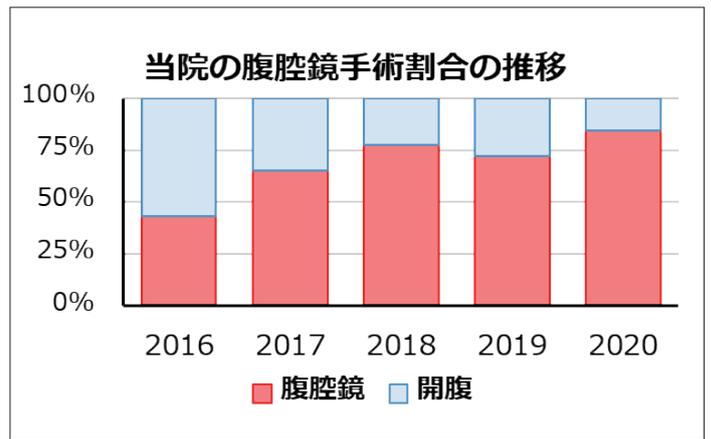


◇大腸の手術は？

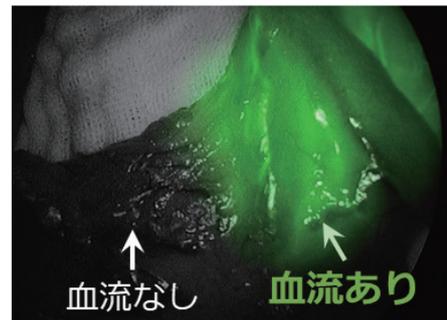
大腸がんの手術は病変部と転移を起こしやすい部分のリンパ節郭清を行います。手術のみで治しきれない病変でも、腸閉塞を予防したり出血による貧血を制御したりする目的で病変の切除を行うこともあります。

当院の大腸がん手術は腹腔鏡を中心に行っておりです。腹腔鏡は傷が小さく、術後の回復が早いメリットがあり、年々腹腔鏡手術の割合が増加しています。

また、昨今の技術の進歩により腹腔鏡を利用して特殊な方法(ICG 蛍光法)で腸管の血の巡りを確認することもできます。

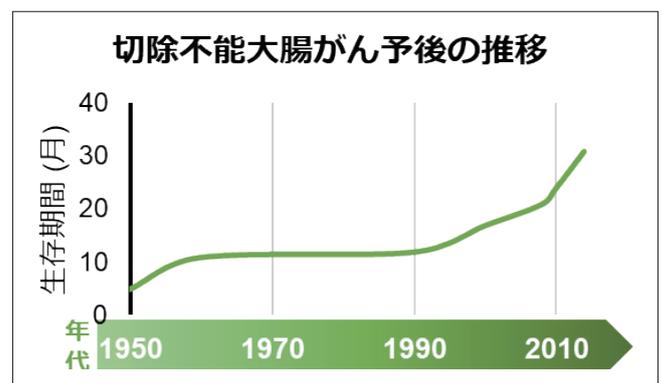


ICG 蛍光法



◇大腸の抗がん剤治療は？

大腸がんの抗がん剤治療はその他の消化器がんと比較して効果が期待できます。近年、遺伝子解析や治療法の進歩によりさらに改善が見込まれています。体の元気さや遺伝子タイプ、がんの部位などによってさまざまな抗がん剤を使い分けて投与します。



さいごに

大腸がんについてお困りのことがありましたら、当院にお越しく下さい。受診の際はかかりつけの先生からの紹介状をお持ちください。